

平成 27 年 9 月 29 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 27 年 9 月 29 日 (火曜日)

午後 3 時 30 分から午後 5 時 00 分まで

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	若月 和浩
教育総務課長	武樋 正隆	教育施設課長	中村 仁
学務課長	茂田井裕子	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	波多 文子	保育課長	大野 宏
中央公民館長	佐藤 実	中央図書館長補佐	内山 隆
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹
学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史	学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之
スポーツ振興課長補佐	田上 剛		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	水内 智憲	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課庶務係	濱 悠子	学校教育課指導主事	岩田 孝志
学校教育課指導主事	古川 真哉	教育センター指導主事	内藤 貴志
教育センター主査兼指導主事	関根 幸子		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 46 号	長岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認等に関する要綱の制定について
3	第 47 号	補正予算の要求について
4	第 48 号	附属機関委員の委嘱について
5	第 49 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

日程第 2 議案第 46 号 長岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認に関する要綱の制定について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 46 号 長岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認に関する要綱の制定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 特定教育・保育施設とは、認定こども園、認可保育園、施設型給付幼稚園が対象であり、特定地域型保育事業は、0 歳～ 2 歳までの小規模保育施設事業や企業内・事業所内保育事業等が対象である。これらへの確認等に関する要綱の制定についてである。制定理由については、平成 27 年 4 月から子ども・子育て支援法が施行され、新たに施設型給付及び地域型給付を受ける場合に、市からの運

営費の給付、補助金の確認に係る申請等が必要となったためである。確認の方法について法律等で定まっていはいないが、今後、新たに施設型給付及び地域型給付の対象となる施設が増えることが見込まれることから、申請が必要な場合をこの要綱で明らかにし、確認に係る申請等の事務を円滑に行うため、本要綱を定めるものである。通常、事業者が事業の認可を受けるため県に認可申請する。これは法人としての財政状況を含めた適格性を判断する認可になるが、市から新たに給付を受ける場合は、この確認申請が必要になる。運営上の基準、人員配置や面積、定員等を満たしているかの確認をする。確認申請していただくことで、最新の状況を市が把握し、それに基づき毎月給付を行うものである。施行期日については、公表の日からとしており、定例会で決定後、施行したいと考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 公表の日は、本日の定例会で決定されれば本日となるのか。

(大野保育課長) そうである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 確認申請が条件のようだ。認可申請の後に確認を行うのは順番が逆のように思える。

(大野保育課長) 認可があって確認申請となっているが、実際は認可の中でも事業内容の審査がある。

(若月子育て支援部長) 認可と確認の中身が異なる。認可は、あくまでも社会福祉法人が認定子ども園や給付を行う施設を県に申請し、県は法人として適格かを認可する。それに基づいて市は、本当に保育ができるのか人員や面積について確認を行うものである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

日程第3 議案第47号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第3 議題47号 補正予算の要求について を議題とする。

事務局の説明を求める。

(若月子育て支援部長) 本件は、9月議会の最終日である9月30日に提案するものである。国は昨年度から地方創生の一環として、各都道府県・市町村に人口減少対策の総合戦略を策定するよう求めている。長岡市も総合戦略を検討してきたところであり、本会議終了後の議員協議会で市全体の総合戦略が示され、その後、市長が記者会見で発表する。人口減少対策のメインは、子育て支援である。今年の4月から総合戦略の一端を先行的に行ってきたが、総合戦略を10月末までに策定し国に提出することにより上乗せ交付金が交付される可能性がある。今回、総合戦略が10月末までに策定できる見込みが立ったことと、子育て支援を全面に押し出していきたいということで、補正予算を提案する。これまで長岡市では、子育ての駅を旧長岡市内に3箇所、栃尾地域に1箇所整備し、多世代の方から子育てに関わっていただき、保育士や子育てコンシェルジュによる相談体制など、みんなで子育てをする環境づくりを進めてきた。合併10周年を経て、より身近な地域に整備して欲しいという声を受け、支所地域にも子育ての駅を設置し、そこを拠点に市民みんなで子育てできるまちの実現に向け、全市的に展開していきたいと考え、補正予算を要求するものである。

(波多子ども家庭課長) 事業の実施にあたっては、既存の各支所地域にある保育園に併設している支援センターや保健センターなどを改修し整備するものである。保育園の施設については教育施設課が、それ以外を子ども家庭課が予算要求するものである。その他に保育課、各支所地域も全力を挙げてこの事業に取り組む。子育てコンシェルジュの配置については、既存の子育ての駅では悩みを気軽に相談できることから匿名制で実施しているが、支所地域に関しては顔が見える近い関係にしたく、地元に通じた子育てに熱意のある方をコンシェルジュとして採用したいと考えている。単なる支援センターではなく地域にあった子育て交流、支援の場になることを目的とし、支所で行っている様々な支援を結びつけ、ネットワークづくりをしながら相談に乗る役割を担ってほしいと考えている。整備の概要は、既存の保育

園や保健センター、支援センターを改修するものであり、直営で運営するものと社会福祉法人に委託するものがある。現在も支援センターとして運営しているが、子育てコンシェルジュを配置して子育ての駅という看板を揚げるとともに、遊具等の老朽化を解消することで支所にも子育ての駅ができたと実感してもらいたい。地域版子育ての駅（仮称）施設整備費として1,134万円、地域版子育ての駅（仮称）運営事業費として4,442万円要求したい。運営事業費は子育てコンシェルジュの人件費のほか子育て情報の発信強化に充てたい。長岡市の子育ての駅の情報も、現在パソコン版のみとなっており、スマートフォンでは見にくい状況であるが、子育て中にパソコンを立ち上げるのは大変なので、スマートフォン版を整備する予定である。タニタカフェとの連携事業は、隣接しているちびっこ広場と連携し子どもの食事やパパ講座開催の間にママ交流会を開催するなどを考えている。長岡市の子育てはタニタも協力しているという付加価値を加えていきたい。この事業の財源は、地方創生上乗せ交付金として市長部局の政策企画課で予算計上をしている。子ども家庭課としては、子育てコンシェルジュの雇用保険料被保険者負担分のみを歳入として要求する。

（中村教育施設課長） 教育施設課が要求する予算は、保育園・幼稚園計5園に子育ての駅を整備するための工事費などに要する経費である。中之島、越路、小国、寺泊、与板の各保育園及び幼稚園に子育ての駅を開設するため、内装等の改修を行うものである。

（大橋委員長） 質疑、意見はないか。

（中村委員） 開館時期に間に合うように改修工事を終わらせるのか。

（波多子ども家庭課長） そうである。

（大橋委員長） 他に質疑、意見はないか。

（加藤教育長） ちびっこ広場・てくてく・ぐんぐん・すくすくといった親しみやすいニックネームが年間約27万人に利用していただいた大きな要因だと思う。今回整備する子育ての駅について、ニックネームが決まっていれば教えていただきたい。

（波多子ども家庭課長） まだ決まっていない。各支所が一方的に決めるのではなく、地域と一緒に検討するよう調整している。

（加藤教育長） ぜひ親しみやすい名前をつけてほしい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(青柳委員) 地域の顔が見える子育てを目指すところがあるが、匿名性の高い相談が多い中、今後もそのような相談は受け付けるということでよいか。

(波多子ども家庭課長) そのとおりである。支所地域は顔が見える関係を目指し、匿名制を求める方については今までどおり長岡地域の子育ての駅にお越しいただきたい。

(若月子育て支援部長) 例えば栃尾のすくすくで栃尾地域ならではの催しを開催することで、長岡地域の方が栃尾地域に足を伸ばすきっかけとなる。地域の方がそれぞれの特徴を生かし運営することで、お互いが交流しあい、ネットワークが広がり一体感が生まれ、より子育てしやすい環境になるのではと期待している。

(青柳委員) 一口に子育てといっても、個々の特徴が生きてくるような運営がなされることを期待する。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(羽賀委員) タニタカフェとの連携事業は、近くにあるちびっこ広場と連携することだが、詳しく説明してほしい。

(波多子ども家庭課長) 現在タニタカフェと話を詰めている段階である。これはタニタカフェとちびっこ広場が近くにあることから、連携した事業ができないかという発想から進めているものである。タニタの栄養士さんから子どもの食事について指導をいただいたり、カフェでの交流会や講座の開催などを考えている。

(羽賀委員) モデルプランが出来たら、支所地域ともメニューなど情報の共有をしてほしい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

日程第4 議案48号 附属機関の委嘱について

(大橋委員長) 日程第4 議案第48号 附属機関の委嘱について を議題とする。
事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 長岡市立公立学校通学区域審議会委員についてである。委嘱期間は平成27年10月1日から平成29年9月30日までの2年間である。委員については、太田中学校区を除いて全ての中学校区から推薦された方が26名、また小学校長会、中学校長会からそれぞれ1名ずつあわせて2名推薦いただき、合計は28名である。そのうち新任は9名、再任が19名である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

日程第5 議案第49号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(大橋委員長) 日程第5 議案第49号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 定例会前に行われた被表彰候補者のヒアリングを踏まえ、それぞれの候補者について、表彰の適否を決定していただきたい。なお、整理番号5番のおぐにカンパニーについては、第11号該当とあるが第1号を適用させたいと考えている。

(大橋委員長) 各表彰候補者について表彰者として適しているかどうかを決定していく。条項第1号の繁窪少年消防クラブについては、表彰者として決定して良いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 次に、第5号の小川 紗季さんについては、表彰者として決定して良いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 次に、第6号の内藤 祐希さん(名の「祐」の表記は、「示」偏に「右」)、
安藤 さやかさんについては、表彰者として決定して良いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 次に、第1号のおぐにカンパニーについては、表彰者として決定して
良いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 全員、「適」として決定したいと思うが、いかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 全員、「適」と決定した。

(大橋委員長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。次に、協議
報告事項に移る。最初に、9月議会における教育委員会関係の質問事項について事
務局の説明を求める。

(佐藤教育部長) 9月議会の一般質問の答弁を説明する。加藤尚登議員からは、地
方創生をめぐる諸課題について質問をいただいた。地方創生につながる「米百俵」
の教育方針について、「熱中！感動！夢づくり教育」は、長岡への愛着と誇りや各
自の使命を自覚させる観点が必要と考えるが所見を伺いたいとの質問であった。地
方創生や人口減少に関する対応策に絡めて、夢づくり教育に「長岡への愛着と誇り」
といった観点や、次世代に命のバトンをつなぐ大切さの自覚を促す「使命の自覚」
教育がしっかりなされているのかといった主旨の質問であった。これについては、
夢づくり教育を始めた10年前に有識者から提言を受け、その提言の中に「長岡へ
の愛着と誇りを育む」という方針が示されていたし、「使命の自覚」についても子
ども家庭課が次世代の親育成事業といった中学生に赤ちゃんを抱かせたり、その親
から話を聞く事業を行い、力を入れている。これまでもきっちりと行っており、こ
れからも行っていくと答弁した。

(若月子育て支援部長) 2つ目は、子育て支援策についての質問である。保育園の
特に3歳未満児が入園しづらい状況の理由は保育士の不足だと思われるが、これま

でどのように対応し、今後どう対応していくかという質問であった。これまでも保育士確保に努めてきたが、未満児の入園希望率が高く、特に年度途中の入園は厳しいものがある。今後も保育士確保に向けて検討していきたいと答弁した。

次に、服部耕一議員からは、保育園の諸課題について質問いただいた。保育園の民営化にあたって、公立保育園についても施設維持のために改修をしっかりと行ってほしいという要望であった。これについては、民営化も進めつつ、公立保育園の施設改修もしっかり行っていくと答弁した。

(佐藤教育部長) 続いて、9月16日に行われた文教福祉委員会の質問について報告する。五十嵐良一委員からはフッ化物洗口について、フッ素の安全性についての質問であった。これについては、フッ素は自然の中に存在しているもので、人間の栄養素にも含まれており、使用するのもごく少量なので全く安全性には心配ないと答弁した。

(若月子育て支援部長) 2つ目は、「子育てコンシェルジュ」と「ままりら」についてである。今年度から始めた制度で、この概要を説明してほしいというものであった。これについては概要を説明し、「子育てコンシェルジュ」も「ままりら」も当初の予想以上に積極的に利用され、子育てコンシェルジュも熱意をもって職務にあたっており、これからもしっかりと行っていくと答弁した。

(佐藤教育部長) 次に、大竹雅春委員からは中学生の国際体験についてである。長岡ホノルル青少年平和交流サミットはとても良く、感動したと評価いただいた。これについて、子どもたちは達成感を得られたため、今後も、国際交流事業としてフォートワース派遣事業など国際交流協会と連携をとり行っていくと答弁した。

(若月子育て支援部長) 次に、関充夫委員からは、子育ての駅の今後の施策展開の方向性についての質問である。関委員は三島地域の委員で、この三島地域の親子サークル活動の中で、長岡中心部まで遠く行きづらいといった声があがったことを踏まえ、より身近にあれば良い、または交通費の支援をしてはどうかといった質問であった。今後検討していくと答弁した。

(佐藤教育部長) 2つ目の合同授業については、学校統廃合に至るまでに小規模校と中・大規模校が合同授業を展開してはどうかといった質問であった。これについては、合同授業を実際に行っている学校もあるが、効果のあるものとないものがある

り、学校に任せている。情報提供はしていきたいと答弁した。

次に、丸山広司委員からは、学校・家庭・地域連携についてである。学校・家庭・地域連携は大事であるといった視点からの質問で、大事であると認識しているのでこれからも力を入れていくと答弁した。

次に、小熊正志委員からは、学校薬剤師の役割についてである。学校薬剤師が各学校に配置されているが、これについての法的な位置づけや、増加している業務量についての質問であった。学校薬剤師は、非常勤の地方公務員特別職の位置づけで委嘱をしており、これは法律で必置になっている。学校薬剤師の報酬が年間 10 万 2 千円ととても低く、平成 14 年度から据え置かれている。その間、法令の改正等で業務量が増え、市域も広がり大変になっている。学校薬剤師が薬局を経営している場合、店を閉めて学校を訪問しなければならず、負担があるので報酬を増やして欲しいという背景からの質問であった。これについては、様々な問題があるので薬剤師会と協議していくと答弁した。

2 つ目は、全国学力・学習状況調査についてである。結果についての質問だったので、正答率は全国平均並みもしくは上回っていると答弁した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 市内小中学校のフッ素洗口の実施状況について伺いたい。

(茂田井学務課長) 小学校については、2 か校を残し全て実施している。残りの 2 か校については、10 月からと来年 1 月から順次始める予定であり、今年度中に全ての学校で実施する予定である。中学校については、去年 4 校、今年 4 校実施している。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 募集していた中学生海外体験事業の締め切りが今日までだと思うが応募状況はいかがか。

(竹内学校教育課長) 明日 9 月 30 日が募集締め切りで、10 名募集のところ、現時点で 14 名からご応募いただいている。まだ増える見込みである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(青柳委員) 机・椅子の検査も学校薬剤師の仕事なのか。

(茂田井学務課長) そうである。机・椅子の高さの検査をしている。

(佐藤教育部長) 法律で業務として定められているものである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 次に、平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果についてである。

この内容については、公表前のものであるので、秘密会が適当ではないかと思うが、委員の皆様はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) では、秘密会とする。

————— 会議規則第 43 条の規定により記録中止 —————

(大橋委員長) 次に、附属機関会議報告について、事務局の説明を求める。

(小熊科学博物館長) 平成 27 年度 第 1 回長岡市文化財保護審議会について報告する。平成 27 年 8 月 18 日に開催し、長岡市文化財保護審議会委員全員に出席いただいた。会議の内容については報告事項として、昨年度末に新潟県の指定文化財となった「越後の凧合戦習俗」の概要と指定理由等について報告した。もう一点、新たに答申が出た国の登録有形文化財「巴ヶ丘もみじ公園巴ヶ丘山荘」は、明治時代後期神谷の大地主である高橋家の別荘になっており、和風建築として優れているので答申がでたものである。まだ官報公告はされていないが、概要と登録理由等を報告した。その後、開催中の特別展「長岡藩主牧野家の至宝展」の視察を行った。委員の中から出された主な意見・質問については、記載のとおりである。

(大橋委員長) 質疑、意見はあるか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。これをもって協議報告事項を終了する。

次に、催し案内について、補足説明のあるものはないか。

(小熊科学博物館長) 科学博物館で毎年開催されている、県下生物・岩石標本展示会、自然科学写真展示会について紹介する。平成 27 年 10 月 20 日から 25 日まで中央公民館大ホールで全作品を、10 月 27 日から 11 月 1 日まで科学博物館企画展示室で優秀作品の展示を行う。児童・生徒の作品が展示されるので、ぜひご覧いただ

きたい。

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員